

★地域自治組織、市民団体に見逃せないイベント紹介特集！

第22号

11月27日は「伊達市地域おこし支援員活動報告会」にぜひ！ 弘前大学大学院・平井太郎准教授の基調報告も聞き逃せません！

伊達市は国の制度を活用し、平成22年度からこれまで全国から来てくれた23名の支援員に「地域おこし」を委嘱して来ました。現在その「地域おこし支援員」さんは、市内5地区に5名。その5名の皆さんによる「平成29年度活動報告会」が、いよいよ来たる11月27日(月)「保原支民センター」で開催されます！

「保原市民センター」(開場午後1時30分)で開催！
支援員さんと一緒に地域おこしを考えるチャンスです！

霊山3地区、梁川・月館各1地区、合計5人の支援員の活動報告に耳傾けましょう！

●あらためて5人の地域おこし支援員さんを、着任順に氏名、担当地区をまずご紹介しておきましょう。

・内田貴之(うちだたかゆき)さん 平成27年5月1日着任、霊山町泉原地区担当
・玉手孝行(たまてたかゆき)さん 平成27年8月1日着任、霊山町石田地区担当
・北澤直貴(きたざわなおき)さん 平成28年5月1日着任、霊山町中川地区担当
・吉田邦彦(よしだくにひこ)さん 平成28年5月1日着任、梁川町五十沢地区担当
・野村明祥(のむらあきよし)さん 平成29年4月1日着任、月館町糠田地区担当

●この5人の皆さんが、地区での活動実績と併せて各自の視点から見た地域状況を発表してくれます。

「地域おこし」も「支援員」にも詳しい平井先生はパネルディスカッションのコーディネーターも！

●11.27「報告会」は、この5人の支援員さんたちの「活動報告発表」(約1時間)が中心ですが、これに先立ち、弘前大学大学院・平井太郎准教授による「基調報告」があります。

●平井准教授は、全国で活躍する支援員の皆さんの全国研修会の講師を2011年から務めるなど、支援員活動に深く係っておいでですし、各地の「地域おこし」にも詳しく、5人の報告発表後は「パネルディスカッション」にも加わってくださる予定ですので、「支援員の活動意義」や「地域おこしの課題、見通し」等についても、掘り下げた意見交換が期待できそうです。

●去年もそうでしたが(右下写真)今年もきっと、支援員さんの熱のこもった報告と「独自の地域おこし法」に出会えることでしょう。支援員着任地区の地域自治組織の皆さまはむろん、他の地域自治組織の皆さまにも、ご参加ご見聞をおススメしたい「報告会」です。



平成29年度 活動報告会

伊達市で活躍する5人の地域おこし支援員の活動実績やそれぞれの視点から見た市の状況などを発表するとともに、「地域おこし」について、専門家に講演いただけます。これからの地域づくりを考えるきっかけにしていだければと思いますので、ぜひご参加ください。

- とき 平成29年11月27日(月)
午後2時～5時(午後1時30分開場)
- ところ 伊達市保原市民センター
(伊達市保原町字宮下111-4)
- 申込み 裏面の方法にて事前にお申込み下さい(参加は無料です)

お問い合わせ 伊達市役所 総合政策課 政策調整係
電話: 024-575-1142 FAX: 024-575-2570
メール: selsaku@city.fukushima-date.lg.jp

・「地域おこし支援員活動報告会」を呼びかける案内チラシ



「地域おこし支援員」の詳細は、
伊達市のHPでよくわかります！



・「地域おこし支援員」さんが居る地域の方はご存じでも、中心街の伊達市民は、支援員さんとの馴染みが薄いかも知れません。そんな場合はぜひ、伊達市のホームページでご確認ください。市のHP最初のページでバナー(上の「地域おこし支援員」のタイトル画面)をクリックすると詳細ページに自動的に入れます。昨年度の報告会の様子(上の写真)も含め、支援員さん達の活動の様がよくわかります。

11月後半の日曜日は「食べて、学んで、地域づくり・まちづくり」伊達市の市民活動は多彩です！
19日は食の交流会「大石食べもの博」で地元料理を食し！
26日は講演会で「高子二十境を活かすまちづくり」を学ぶ！

「うちも、やってるのに！」とおっしゃる他の地域自治組織や市民団体の皆さんには「ごめんなさい！」。私どもの取材網が小さ過ぎて、今回は上記2件の（ご持参いただいた）情報しかNEWSにできませんでした！でも、これからはぜひ、2ページどころか4ページや6ページに載せられるほどに情報をお寄せください！NEWSにしてお知らせします！

お昼をはさんで開催の「食べもの博」は早めに！
「高子二十境」は小林教授の話が聞き逃せない！
いっそ2週続けての「はしご」はいかがですか？

●去年の「食べもの博」は、開始時刻前から行列ができ、またたく間にさばけてしまい、次のお皿が来るまで待っていただくほどだったとか（関係者談…案内チラシの写真でその一端が伺えます！）。参加費の安さ（200円！）も魅力。お早目のお出かけがオススメです。

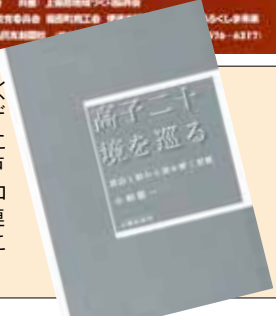
●「高子二十境」は知る人ぞ知る伊達市が誇る「日本でも稀な文化環境遺産」。年々訪れる方が増えています。講演の東北芸術工科大学小林教授は平成26年「福島民友新聞」紙上で高子二十境の価値と魅力を、余すところなくあらためて世に広めた方。聞き逃せません。

●「食べもの博」も「高子二十境」も主催は「地域自治組織」と「地域住民の団体」。伊達市の市民活動の多彩さが、11月のイベントでも示されています。

大石ふるさとづくり協議会・主催
「食べもの博」の開催は19日
会場は「霊山地区交流館」

高子沼を楽しむ会・主催
「講演会」の開催は26日
会場は「保原小学校・講堂」

●これ一冊で高子二十境が巡れます●26日に講演してくださる小林教授は「高子二十境」に取り組んでいる都市デザイン・地域デザイン・景観論の専門家。高子二十境に関する著作・講演も多くこの1冊はとくにユニーク。江戸時代に出版された「永慕編」の「谷文晁」の画をパソコンに取り込み、自ら彩色を施し、現代の図版として新聞連載の再録に添えて構成しているからです。先生の思いがこもった、しかも、見て読んで、楽しい1冊です。



12月の市民活動関連催事・予告

2日いわきで「ここからはじまる・ふくしま百年基金」
6日は郡山で「第2回・福島県NPOのつどい」
～「地域のお財布」と「NPOの進む道」を考える日です！～

●「ここからはじまる～」（主催・一般社団法人ふくしま連携復興センター）は、「市民によるコミュニティ基金＝ふくしま百年基金」設立を目指すイベント。

●「福島県NPOのつどい」（主催・福島県）は去年の続き、全県の市民団体・NPO法人に呼びかけ交流を深めノウハウを共有し、絆づくりを目指します。

●どちらも事前の「参加申込」が必要ですが「支援センターが手続きを代行します」。支援センター宛に電話連絡（024-583-2800、日曜休館）くださるだけで参加申込できます！

「ふくしま百年基金」「福島県NPOのつどい」への参加、お問い合わせは「支援センター」へ

●「ふくしま百年基金」（会場・いわき）は、市民活動の財源にするための「コミュニティ基金＝地域のお財布」の設立をめざす最初の集まり＝キックオフイベントです。●「福島県NPOのつどい」（会場・郡山）は、全県の市民団体・NPO法人が一同に集まるイベント。●どちらも「市民活動」を後押しする催しですから「支援センター」も応援していますので、参加申込・お問い合わせは下記「支援センター」にお気軽にご連絡ください。詳しく案内いたします。



伊達市市民活動支援センター
 電話番号：024-583-2800 FAX：024-583-2820
 ○開館：毎週・月～土曜（日曜休館）
 午前9時～午後6時
 伊達ふれあいセンター3階まで